CASBEE名古屋　評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2014年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル2014　|使用評価ソフト：CASBEE_Nagoya_2014(v.1.22)

1-1 建物概要

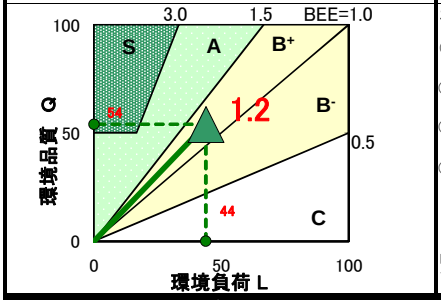
建物名称	(仮称)上社Ⅱ計画	階数	地上7F、地下1F
建設地	名古屋市名東区社口二丁目403	構造	RC造
用途地域	第2種住居地域・第1種住居地域・第	平均居住人員	244 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅,	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2017年5月　予定	評価の実施日	2015年11月27日
敷地面積	2,396 ㎡	作成者	
建築面積	1,169 ㎡	確認日	2015年11月30日
延床面積	5,851 ㎡	確認者	

1-2 外観

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

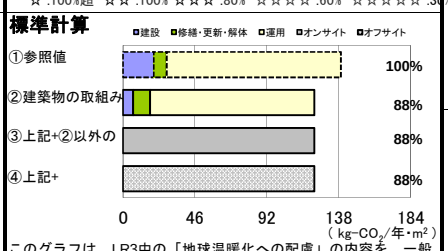
= BEE 1.2

★ :S: ★★★★★　A: ★★★★　B⁺: ★★★　B⁻: ★★　C



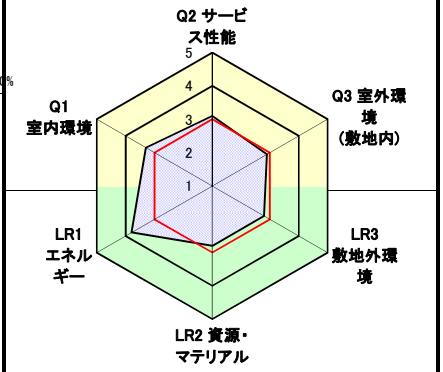
2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

☆ :100%超　☆☆ :100%　☆☆☆ :80%　☆☆☆☆ :60%　☆☆☆☆☆ :30%



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

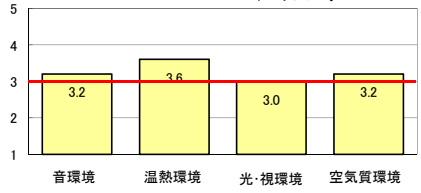
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



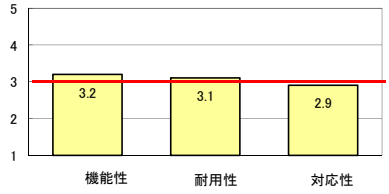
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質　　Q のスコア= 3.1

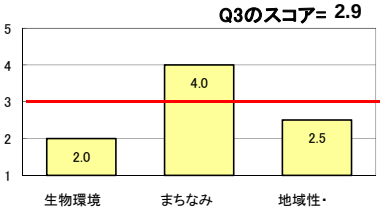
Q1 室内環境　Q1のスコア= 3.3



Q2 サービス性能　Q2のスコア= 3.1

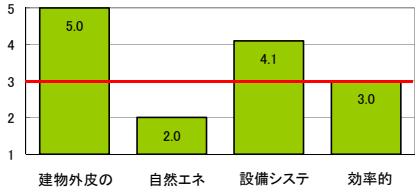


Q3 室外環境（敷地内）　Q3のスコア= 2.9

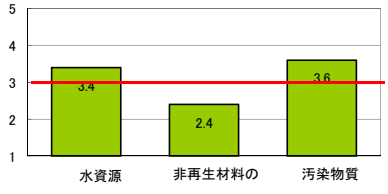


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 3.2

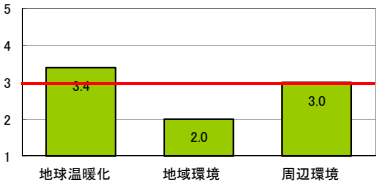
LR1 エネルギー　LR1のスコア= 3.8



LR2 資源・マテリアル　LR2のスコア= 2.8



LR3 敷地外環境　LR3のスコア=2.8



3 設計上の配慮事項

総合	その他
周辺環境に調和するように、色彩、ボリューム感、植栽計画等配慮している	0

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境（敷地内）
内装にはF☆☆☆☆の材料を採用	インテリア、色彩コーディネートを行い、モデルルームでデザインの検証を行う 維持管理に配慮した設備計画	空地は極力植栽し、特に道路境界に沿って植栽帯を設ける 歩車道分離動線を確保する

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
住宅性能評価　5-1省エネルギー対策等級=4　で計画	節水型水栓の採用、ノンフロン断熱材の採用	駐輪場付置率150%とし、さらにバイク置場を4台分確保した

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される